

2013年9月13日

各位

株式会社 埼玉りそな銀行

「埼玉りそな6次産業化応援ファンド」の設立について

りそなグループの埼玉りそな銀行（社長 上條 正仁）では、6次産業化※1 事業体の育成支援を目的とする「埼玉りそな6次産業化応援ファンド」の設立準備を進めておりますのでお知らせいたします。本ファンドは、農林水産大臣の認可後、2013年10月の設立を見込んでおります。

埼玉りそな銀行は、これまでも埼玉県が実施する地産地消の推進や農商工連携の支援に向けた取組みに協力するとともに、食料品製造出荷額が全国第3位（平成23年度経済産業省「工業統計調査」）である埼玉県の農業と食品産業の連携促進に積極的に取り組んでまいりました。

今後、本ファンドを活用し、株式会社農林漁業成長産業化支援機構※2 や埼玉県などのご協力も得ながら、農業と食品産業の連携による新たな事業創出と成長支援を行ってまいります。

※1 6次産業化：1次産業である農林漁業者が、生産だけにとどまらず、加工食品の製造（2次産業）や、小売等（3次産業）に取り組むことで新たな付加価値の創造につながるとした考え方。

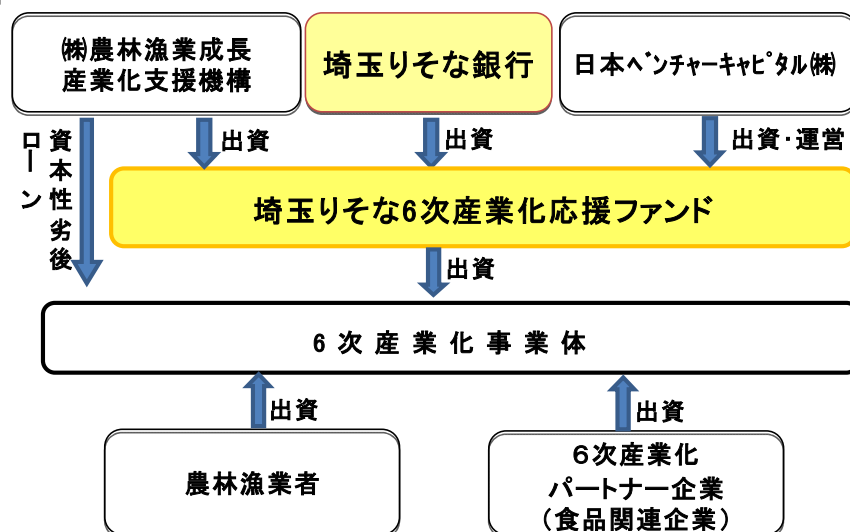
※2 株式会社農林漁業成長産業化支援機構：本年2月、国と民間の共同出資により設立。地域金融機関等が設立する地域ファンドへの出資等により、国が認定した6次産業化事業体の成長を支援する。

記

【ファンドの概要】

- (1) 名称：埼玉りそな6次産業化応援ファンド
- (2) 出資総額：5億円
(当社48%、日本ベンチャーキャピタル(株)2%、(株)農林漁業成長産業化支援機構50%)
- (3) 運営会社：日本ベンチャーキャピタル株式会社
- (4) 投資対象：六次産業化法の認定を受けた6次産業化事業体
- (5) 存続期間：15年
- (6) 設立予定：2013年10月

【スキーム図】



以上